

# 柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 千742-0022  
(株)柳井日日新聞社  
編集発行人 友座 泰  
電話 0820-22-0758  
FAX 0820-22-2775

購読料 1ヶ月 1,512円  
(郵送 1,620円)  
振替口座 01550-3-005438  
《火・木・土曜日発行》



山口のしあわせの真ん中に、  
**菓子乃季**  
—KASHINOKI—

柳井市柳井5275  
Phone(0820)22-0757

柳井市人口・世帯数 (9月末現在)

●世帯数	15,234 (-7)
●人口	29,375 (4人)
●人口性比	137.5 (1人)
●男女	15,625 (1人)
●前月	15,625 (1人)
●外国人	280人

## 白壁の町並み 重伝建選定40周年祝い

### 白壁を守る会 柳井市教委 記念式典に50人、講演会や事業も



柳井市古市金屋伝統的建造物群保存地区(白壁の町並み)が、重要伝統的建造物群保存地区(略称・重伝建)に選定されてから40周年を迎えたことを受け、柳井市白壁の町並みを守る会(木阪泰之会長)と市教委は20日、市立柳井図書館(みどりが丘図書館)で記念式典と講演会を開催した。また、周年事業として、写真展のほか、記念パスポートを進呈されるスタンプリーに、スマホを用いて金魚ちようちんARと一緒に写真が撮れるデジタルコンテンツが加わり、白壁と金魚の認知度アップに努めている。



約50人が出席したこの日の式典で、木阪会長は「40周年を迎えることができてうれしく思う。今回、『ふわく&ワクワくみらいに生きる AREA DEENKEN871』をテーマに、新図書館での開催や柳井らしさを表現し、新しい人たちにバトンタッチしたい、などの思いで記念事業を計画した。現在と過去を振り返り、これからは多くの方々が白壁の町並みに希望をもっていたいただきたい」とあいさつした。

井原健太郎市長と山本達也議長が祝辞を述べた後、3つの記念講演が行われた。文化庁文化財第2課伝統的建造物群部門主任文化財調査官の梅津章子氏は「伝建地区の未来に向けての取り組みについて」を演題に、全国の保存地区の紹介を行った。

柳井市伝統的建造物群保存地区保存審議会副会長の三吉勝也氏は「エリアデンケン871 40年よもやま話」を守る会員で白壁の町並みで飲食店やないろを経営する中本英宏氏が「今後の白壁の町並みの可能性について考える」をテーマに語った。また、会場の一角には、柳井の伝建地区を対象として歴史的町並みを生かした持続可能な町づくりの在り方を研究している柳井市出身の福屋亮平氏が手がけた作品「水庭暮らし」が展示され、来館者の注目を集めていた。

記念事業のスタンプリーは、11月4日まで市観光協会やしらかべ学遊館、やないろ西蔵など16カ所で開催。10時~17時。参加事業所に来店で1ポイント、商品購入で2ポイント、10ポイントのスタンプリーで記念パスポートを進呈(先着80人)。

QRコードは、限定パスポートの中に挟んであるプリントに掲載またはスタンプリー5カ所(やないろ、佐川醤油店、やないろ西蔵、木阪賞文堂、町並み資料館)のポスターに掲示。

白壁の町並みは、1984年(昭和59年)12月10日、全国20番目に重伝建に選定。県内では萩市(4カ所)も選ばれている。全国では現在、127カ所が選定されている。

うちんが同時に泳いでいるQRコードが進呈されるという。インスタグラムのハッシュタグは、「#金魚ちようちんが泳ぐ町」。ARとは、拡張現実の意味で、実在する空間や風景にバーチャルの映像を重ねて表示させ、現実の世界を視覚的に拡張する技術。

## 全国防犯力芳者表彰で輝く

隊員も務める若山さん。登下交際の見守り活動

少年育成センター指導員として、也或主任

で安心に暮らせる地域づくりのりこりこ員長

犯罪の防止及び少年の健全育成活動

交流を促し、一次産業

## 10団体が農産物な

### 11月2日 フラワー 第16回柳井ファーマー

### おむすびと紅白もちを無料配布

柳井市内の朝市・直売所女性グループなどが大集合し、ふるさとの魅力をアピールする「第16回柳井ファーマーズマーケット」(市主催)が11月2日(土)、市内新庄のやまぐちフラワースタジアムで開かれる。9時から16時まで。雨天決行。入園無料。

このマーケットは例年、柳井の農水産品を朝市形式で即売し、地産地消の推進と都市間交流を促し、一次産業